

キャリア形成プログラム

(放射線医学教室)

取得を目指す専門医資格

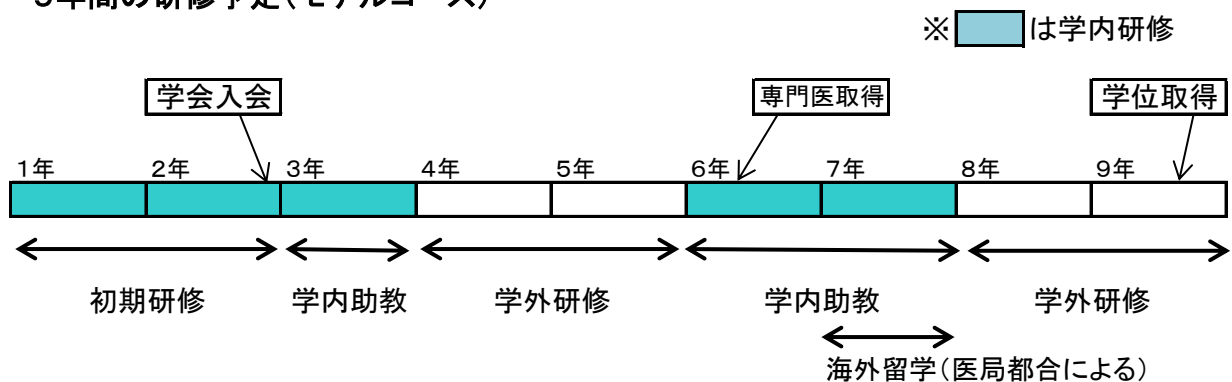
放射線科専門医

【コースの概要】

全体像

- ・日本医学放射線学会の専門医育成コース設定と和歌山医大放射線科医学教室の放射線科医育成方針はほぼ合致している。
- ・すなわち、最初の院内3年間の経験から治療医になるのか画像診断医（IVRを含む）になるのか選択をしてもらう。
- ・院内の3年間は希望に準じるが選択の幅をせばめないように画像診断IVRコースと、治療コースの両方の研修を行ってもらう。
- ・選択に応じた学外の研修を2年間行う。その後に専門医資格を取得してもらう。
- ・その後大学に戻り学位のテーマを決め2年間で臨床的な基礎データを作り、或いは動物実験によるデータ作成を行う。
- ・最後の院外研修期間にも学術的思考を継続し、終了時に学位取得をってもらう。
- ・9～10年後は大学に戻り希望があれば国外留学を通じて視野を広げてもらう。

・9年間の研修予定(モデルコース)



指導体制

・研修先病院

学会認定施設	研修病院名	診療科	指導者数 (人)	うち専門医 数(人)	受入可能最 大人数(人)
○	国立病院機構南和歌山医療センター	放射線科	1	1	2

・専門医について

学 会 名	日本医学放射線学会
資 格 要 件	(1) 日本国の医師免許を有すること。 (2) 医師法(昭和23年法律201号)第3条および第4条の規定に該当しないこと。 (3) 初期臨床研修を含め5年以上の臨床経験を有すること。 (4) 3年以上本学会正会員である事。 (5) 修練期間で4年間の研修。

キャリア形成プログラム

(放射線医学教室)

取得を目指す専門医資格

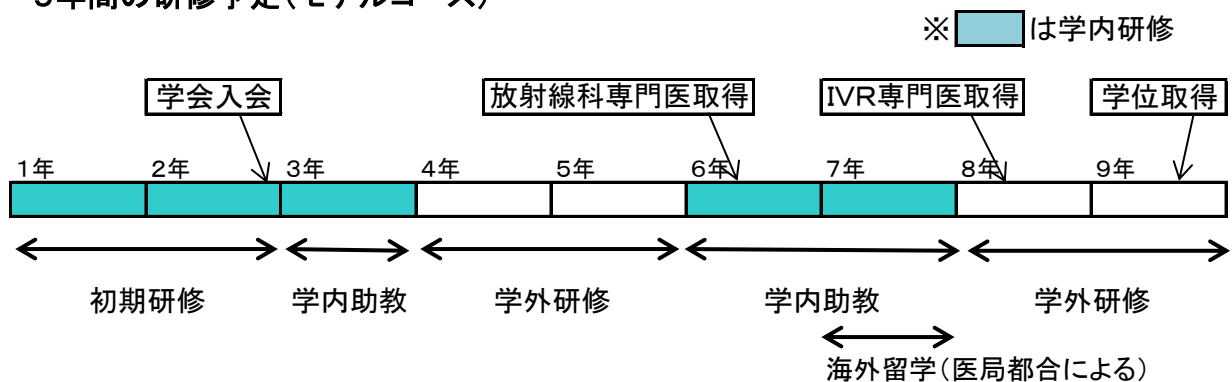
IVR専門医

【コースの概要】

全体像

- ・日本医学放射線学会の専門医育成コース設定と和歌山医大放射線科医学教室の放射線科医育成方針はほぼ合致している。
- ・すなわち、最初の院内3年間の経験から治療医になるのか画像診断医（IVRを含む）になるのか選択をしてもらう。
- ・院内の3年間は希望に準じるが選択の幅をせばめないように画像診断IVRコースと、治療コースの両方の研修を行ってもらう。
- ・選択に応じた学外の研修を2年間行う。その後に専門医資格を取得してもらう。
- ・その後大学に戻り学位のテーマを決め2年間で臨床的な基礎データを作り、或いは動物実験によるデータ作成を行う。
- ・最後の院外研修期間にも学術的思考を継続し、終了時に学位取得をってもらう。
- ・9～10年後は大学に戻り希望があれば国外留学を通じて視野を広げてもらう。

・9年間の研修予定(モデルコース)



指導体制

・研修先病院

学会認定施設	研修病院名	診療科	指導者数 (人)	うち専門医 数(人)	受入可能最 大人数(人)
○	国保日高総合病院	放射線科	1	1	1

・専門医について

学 会 名	日本インターベンショナルラジオロジー学会
資 格 要 件	(1)本学会入会5年以上 (2)本学会の認めるIVRに関連する学会の専門医に相当すること (3)本学会が認定した修練認定施設において2年以上のIVRの修練を行っていること

キャリア形成プログラム

(放射線医学教室)

取得を目指す専門医資格

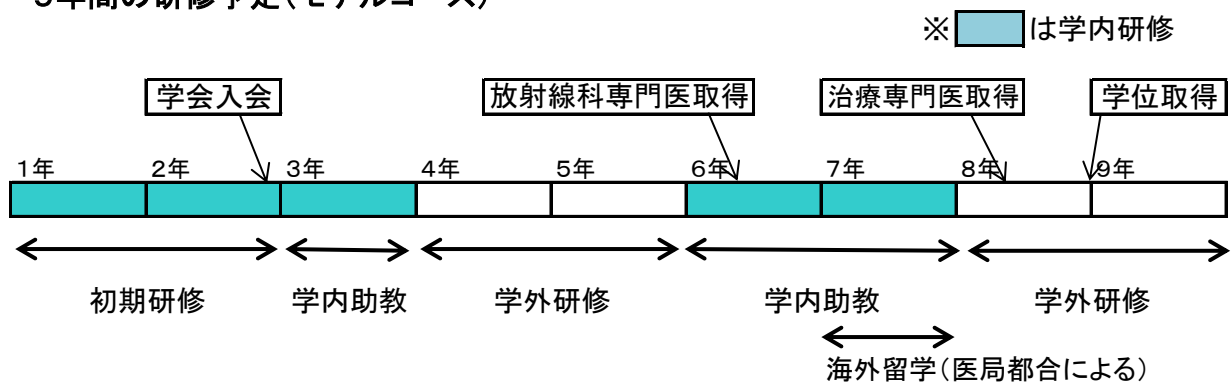
放射線治療専門医

【コースの概要】

全体像

- ・日本医学放射線学会の専門医育成コース設定と和歌山医大放射線科医学教室の放射線科医育成方針はほぼ合致している。
- ・すなわち、最初の院内3年間の経験から治療医になるのか画像診断医（IVRを含む）になるのか選択をしてもらう。
- ・院内の3年間は希望に準じるが選択の幅をせばめないように画像診断IVRコースと、治療コースの両方の研修を行ってもらう。
- ・選択に応じた学外の研修を2年間行う。その後に専門医資格を取得してもらう。
- ・その後大学に戻り学位のテーマを決め2年間で臨床的な基礎データを作り、或いは動物実験によるデータ作成を行う。
- ・最後の院外研修期間にも学術的思考を継続し、終了時に学位取得をってもらう。
- ・9～10年後は大学に戻り希望があれば国外留学を通じて視野を広げてもらう。

・9年間の研修予定(モデルコース)



指導体制

・研修先病院

学会認定施設	研修病院名	診療科	指導者数 (人)	うち専門医 数(人)	受入可能最 大人数(人)
○	国立病院機構南和歌山医療センター	放射線科	1	1	1
×	和歌山ろうさい病院	放射線科	1	0	1
×	公立那賀病院	放射線科	1	1	1
×	橋本市民病院	放射線科	1	0	1

・専門医について

学 会 名	日本放射線腫瘍学会
資 格 要 件	<p>(1) 日本国の医師免許を有すること。</p> <p>(2) 申請時に本学会の正会員であり、放射線科専門医資格取得後2年以上の臨床経験と3年以上の正会員歴を有すること。</p> <p>(3) 申請時において放射線科専門医であり、5年以上放射線学会の正会員であること。</p> <p>(4) 修練期間で4年間の研修。</p>